

4. 研究の実践と考察

(1) 単元名「米の輸入自由化を考える」

(2) 単元の目標 (略)

(3) 指導計画

時	ねらい	主な指導内容	飯説とのかかり
1	米という身近な問題から、食料問題、日米貿易摩擦についての関心を高めさせる。	米の市場開放問題の記事を通して、自分自身の意見を持つとともに、それを立証しようとするためには何が必要か考えさせる。	新聞作成という目標を持つことで、主体的に社会的事象をとらえようとする態度を身に付けさせる。
2	米の市場開放賛成・反対で班を作り班討議によってそれぞれの主張を交換しあい、多面的な解釈をさせる。	賛否で班をつくり、班ごとに話し合い、共通の意見をまとめるとともに全体でも発表し、質疑応答を行う。他人の意見を聞くことで、自分の考えを検討させる。	賛成反対の根拠を追求し合うことで、他人の考えとの相違点、類似点を確認させる。
3	班ごとに意見をまとめて発表させるとともにいろいろは情報を総括して自分の考えを検討させる。また、さらに意見を確立するため調べを必要のあることとがらを確認させる。	班討議のなかでの意見交換や班代表の発表、各班への質疑応答を行わせるなかで、自分の考え方を再検討させる。ミニ記事を作成させ、自分の考え方をまとめて発表させる。意見の変更があれば班を移動させる。	情報が豊富になってくるので、生徒の意識の中では混乱がおこるが、記事を作成する過程において思考力を駆使させる。
4	ミニ記事を発表し、考え方を整理し、情報を確認させ、それらと関連させて自分の考えを確認し合い、自分の考えをまとめて発表させる。	これまでの学習から得た情報を確認させ、農産問題や貿易問題を関連させて、自分の考えをまとめて発表させる。新聞作成の手順を確認させる。	客観的に判断できる情報を確認し、それらと関連させて自分の考えをまとめて発表させる。
5	新聞の発表会をとおして相互に評価させる。また、他の生徒の作品のよいところを学ぼうとする態度を身に付けさせる。	一人1分ずつ、自分の新聞について発表させる。その際、全員が一言ずつ感想を書き評価する。あわせて自己評価もさせる。	いろいろな考え方を知らせて、一つの事象を多面的にとらえる態度を身に付けさせる。

(4) 検証授業 (3/5)

① 本時のねらい

米の市場開放について班ごとに意見を交換し、それをまとめて発表させるとともに、いろいろな情報を総合して自分の考えを検討させる。また、さらに自分の意見を確立するために調べる必要のあることがらについても確認させる。

② 本時のポイント

ただ賛成・反対というのではなく、資料及び聞き取り調査などから客観的な事実を得ることで、米の市場開放という事象を多面的にとらえ判断させる。

③ 本時の展開

時間	学習内容・活動	時間	○飯説上の観点 ●評議 ※飯説とのかかり
1.	本時の課題を把握する。		
5	「米の輸入自由化を考える」 ◎自分の考えをまとめよう。	5	○ミニ記事を教室に掲示しておき、事前に意欲づけをはかる。 ※他人の記事のよい点に気づく。 ●授業前に全員が掲示した記事を見たか。
2.	課題を追究する。		
15	①調べてきたことを発表する。 ・GATT、ポストハーベスト ・農業、食育法など	15	○全員が調べてきているので、指名によって発表させる。 ○補充のために、教師が作った資料を配布し、説明を加える。
15	②もし、自由化になったらどうなるか考え、発表する。 ・部分開放、完全開放	15	○新しい班になってそれぞれの立場になりきって話し合わせる。これまでの学習をもとに思考させる。 ※既習事項を関連させることができただか。
3.	課題を解決する。 ・アメリカ人の考えを知る。 ・日本の国際的課題を考える。	10	○補充資料を提供し、感情的な判断にならないよう配慮する。
4.	本時のまとめをする。 ・新聞作成のねらいを知る。	5	※賛成・反対の意見だけではなく、アメリカ人の考えや自由化とそうでない場合などを比較・関連したうえで最終的な判断をさせる。
5.	次時の予告を聞く。		

(5) 検証授業の実践と考察

① 検証の観点

- 資料の収集と分析、聞き取り調査などによりテーマ学習への意欲をとらえる。
- 話し合いや発表の場面を生かして、多面的に考えようとする態度をとらえる。
- 事前・事後のアンケートの分析から、授業に対する意識がどのように変わったかをとらえる。

- 新聞の作成を通して、社会的な男考力の高まりや表現力をとらえる。

② 指導の概要と考察

討論会 賛成・どちらでもない・反対の班に分かれ一人一人の考えを交換し合うことで、広い視野にたって考える力が育ててきた。授業ごとに考えが変容し、班の移動も見られた。(例・賛成5→10→12人)

インタビュー 地域に働く人の意見を聞くことで、立場の違いによっていろいろな考え方があることを理解できた。また、体験的な学習にもなった。